

<様式1>

(番号)
令和 7年 月 日

(四国地方整備局長経由)
国土交通省 水管理・国土保全局長 殿

吉野川上流かわまちづくり推進協議会

「かわまちづくり」計画の認定について(申請)

「かわまちづくり」支援制度実施要綱第7の規定に基づき、
下記の「かわまちづくり計画」について申請いたします。

記

名 称：吉野川上流かわまちづくり計画

推進主体：吉野川上流かわまちづくり推進協議会

以上

かわまちづくりの概要

1. 市町村等の概要	
①都道府県名	徳島県
②市区町村名	美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
③人口	美馬市 26,264 人、三好市 22,158 人、計：70,540 人 つるぎ町 8,927 人、東みよし町 13,191 人（令和 7 年 1 月 現在）
④面積	美馬市 367.4km ² 、三好市 721.4km ² つるぎ町 194.8km ² 、東みよし町 122.6km ² 計：1,406.2km ²
⑤市の特色	徳島県西部の美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町の 2 市 2 町は、北部は阿讃山脈、南部は四国山地、中央部には「吉野川」が流れる自然豊かな地域で四国の各県と隣接する地理的特徴をもっており、西日本第 2 位の高峰「剣山」をシンボルとして、日本三大暴れ川の一つである「吉野川」の景勝地「大歩危・小歩危」の渓谷、その支流の深い V 字谷を形成する「祖谷溪」などを含む「剣山国定公園」、徳島県の天然記念物に指定されている名勝「美濃田の淵」を中心とした魅力ある自然を有している。また、平家落人伝説や江戸・明治期の商家が残るうだつの町並みなどの歴史・文化、東洋文化研究家アレックス・カー氏の著書「美しき日本の残像」で紹介された祖谷地区の人と自然の営みなど、「日本の原風景」として国内外から注目を浴びる観光資源を共有する地域であり、年間を通じて多くの観光客が訪れている。
2. 河川の概要	
①主な河川	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野川（一級河川吉野川水系、流域面積（水系全体 3,750km²）） 吉野川は、その源を高知県吾川郡の瓶ヶ森（標高 1,896m）に発し、四国山地に沿って東に流れ、敷岩において穴内川を合わせ、北に向きを変えて四国山地を横断し、銅山川、祖谷川等を合わせ、徳島県池田において再び東に向かい、岩津を経て徳島平野に出て、大小の支川を合わせながら、第十地点で旧吉野川を分派し、紀伊水道に注ぐ、幹川流路延長 194km、流域面積 3,750km² の一級河川である。「四国三郎」とも呼ばれ、人や物、文化を運ぶ「動脈」としての歴史を持つ四国最大の河川であり、関東の利根川「板東太郎」や九州の筑後川「筑紫次郎」と共に、日本を代表する暴れ川としても有名である。 ・中鳥川（一級河川吉野川水系、流域面積（水系全体 12.4km²）） 中鳥川は、吉野川本川河口より約 58km 左岸に位置し、区間延長 2.0km で合流する一級河川である。水量は少ないが、周辺の河原においては、多様な草本類の群落や、ハチク、マダケの竹林などで形成されており、環境学習・自然体験には良好な地区である。
②河川と市区町村との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町は北側の阿讃山脈、南側の剣山に挟まれ、ほとんどが山地であり、地域の中央を東西に「吉野川」が流れ、大歩危・小歩危では遊覧船による船下りやゴムボートでの迫力あるラフティングの名所となっている。このため、昔から河川との関わりは深く、小学校等の校歌にも名称が出てくるなど、沿岸地域から親しまれており、各地先ごとにボランティア（河川アドプト）が組織され清掃活動が行われている。 このほか、カヌー教室や竹林を活かした活動など、河川空間利用の多い箇所であり、水辺とのふれあいの場、日常的な健康づくりの場として活用されて、大自然の中で賑わいを見せている。
③これまで実施済みの関連施策	<ul style="list-style-type: none"> ・当対象地は H22 から「芝生地区かわまちづくり事業」として整備が進められ、「三好市三野健康防災公園(H29)」としてオープンし、様々なスポーツ・防災イベント会場となっている。 周辺の吉野川沿いには、地域活動や環境学習の拠点となる水辺の楽校[美馬市水辺の楽校(H21)、ぶぶるパークみかも(H17)]や、オートキャンプ場[四国三郎の郷(H13)]、「美馬市吉野川河畔ふれあい広場」(H17)（現在：美馬市美馬リバーサイドパーク）、観光資源を活かした道の駅[貞光ゆうゆう館(H6)、藍ランドうだつ(H14)]、「美濃田の淵」(H16)の整備がされている。
④市民の河川利活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・吉野川や中鳥川は日頃より散策などに利用され、河川敷ではサマーフェスティバルなどのイベントやスポーツ活動が開催され、多くの市民に利用されている。 ・子どもを対象としたカヌー等の体験イベントや竹林資源を活かした竹細工教室等が開催され、水辺と触れ合うことのできる場となっている。また高水敷等は、散歩やジョギングなど日常的な健康づくりの場、地域住民の憩いの場として利用されている。



位置・交通等】

- 徳島市中心部から西に約 65km (車で約 1 時間)
- 徳島自動車道美馬 IC から約 7km (車で約 15 分)
- 吉野川ハイウェイオアシス(スマート IC) から約 12km (車で約 25 分)

計画対象地周辺平面図 (利用状況)



3. かわまちづくりの方針

地域における課題、計画の必要性

整備計画対象地は、高速道路 IC（吉野川ハイウェイオアシス、美馬 IC）の中央付近に位置する吉野川、中鳥川地区で、「三好市三野健康防災公園」エリアになる。この地区では、H20 に「にし阿波観光圏」整備計画が設定されて以降、社会資本整備等の各事業等と連携し、近隣の施設（美濃田の淵、ぶぶるパークみかも、オートキャンプ場四国三郎の郷、美馬市水辺の楽校、貞光ゆうゆう館、脇町潜水橋等）間をカヤック・カヌー等で周遊できる『水辺の拠点』として基盤整備を行ってきた。そして河川空間を観光アクセスとして活用し、三好市～東みよし町～つるぎ町～美馬市の観光資源を結びつけ、様々なイベントが開催され、各施設の利用者・観光客の増加による地域活性化および観光振興に寄与してきたところである。

現在は「にし阿波から剣山・吉野川観光圏」として更なるバージョンアップがなされ、全国の 13 観光圏とともに、日本の顔となる世界品質の滞在プログラムの創造に取り組んでおり、インバウンドの増加も期待されているところである。

また整備計画対象地は、美馬市、三好市の境界付近に位置し、徳島県「西部健康防災公園」エリアとしても指定されている。当公園は、「四国三郎の郷（徳島県立美馬野外交流の郷オートキャンプ場）」、「美馬市美馬リバーサイドパーク」、「三好市三野健康防災公園」、「徳島県立西部防災館」、「中鳥地区 MIZBE ステーション」を含めた、面積約 50 ha の広大なフィールドを持つ「健康」と「防災」の両面から利活用できる公園となっている。

また最大 400 人が宿泊可能な「四国三郎の郷」では、「宿泊できるスポーツ施設」として、スポーツ合宿や全国規模の大会などの活動拠点として多く利用されている。

現在の日常利用だけでなく、スポーツ大会、イベント等の開催が定着している状況に加え、今後も新たなイベント会場としての利用が予定されている。特に「花火大会」は、中四国唯一の全国花火師競技大会であり、多くの観客が訪れている。

【主な競技・イベント等】

- ・「パークゴルフ」 ・ 「サッカー」 ・ 「野球」 ・ 「ソフトボール」
- ・ 「マラソン大会」 ・ 「クロスカントリー」
- ・ 「花火大会」開催（毎年） ・ 「防災活動訓練」開催
- ・ 「TOYOTA ラリー（第 2 戦）」開催（毎年） ・ 「ダートラリー大会」
- ・ 「徳島自転車 T ラインルート」区間に設定
- ・ 「ジオパークネットワーク・ジオサイト探訪」モデルルートに設定

日本ジオパークネットワーク構想の三好ジオパーク三野エリアにある各ジオサイト（太刀野中央構造線、芝生衝上断層、王子の扇状地）探訪

- ・ 「防災教育」における「歴史探訪」モデルルートに設定

近隣に存在する洪水痕跡、加茂野宮遺跡、下加茂神社、伊射那美神社等の歴史的史跡探訪

計画エリア全体位置図



計画エリア周辺平面図

公園内整備位置図



公園外整備位置図



課題

- 吉野川の水辺を利用したイベント等の開催を通じて、川に触れ合い、親しみを感じることはできているが、まだ場所が少なく、川（水面や水辺）が利用されにくい状態で、人と川との繋がりに距離感がある。
- 地元や民間事業者による河川空間を活用した取り組みは、主にイベント開催となっているが、その定着が流動的となっている。

基本方針

- 吉野川上流かわまちづくり計画の基本方針（コンセプト）
「水辺に親しみ、川の自然や文化を学ぶ多様な交流拠点」
- 吉野川上流かわまちづくり計画の基本方針の目標
 - ・安全・安心に川とふれあえる水辺空間の創出（幅広い世代の多くの人々が利用）
 - ・地域や事業者などが河川空間を活用した更なる取組みの推進（地域や民間事業者などが活用）
 - ・まちと川の魅力の向上を図るとともに回遊性を高め、交流人口の拡大を図る（吉野川を訪れた人が利用）

地域のまちづくり計画のなかで河川の位置づけ ※太字：特にかわまちづくりに関連する項目

にし阿波振興計画 2024-2028 令和6年3月25日では、以下のように示されている。

【戦略】

- 1 観光・交流によるにぎわい創出
- 2 豊かな自然環境の未来への継承
- 3 安全・安心な地域づくりの推進
- 4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現
- 5 ひとを惹きつけるにし阿波のしごとづくり

【施 策】

- 1 ① **戦略的な観光プロモーションの展開**
 - ② 深化する「にし阿波」魅力づくり
 - ③ 交流人口増に向けた受け皿づくり
- 2 ① **豊かな自然さ環境との共生**
 - ② 良好な地域環境の保全
- 3 ① **災害対応力の強化**
 - ② 災害に備えた着実な社会基盤整備
 - ③ 安全・安心に暮らせるにし阿波づくり
- 4 ① **健やかな成長を支える地域づくり**
 - ② 互いに支え合う地域福祉の充実
 - ③ 健康寿命の延伸
- 5 ① **多様な交流と地域活性化の好循環**
 - ② もうかる農業の推進
 - ③ 持続可能な森林・林業の確立

1. 河川名	
① 吉野川水系吉野川、中鳥川	
2. 施設の実施範囲	
吉野川 芝生地区、西村・中鳥地区	吉野川・中鳥川
3. 施設の概要	
<p>① 吉野川 芝生地区、西村・中鳥地区</p> <p>カヌーなどの水辺利用者達の拠点として、オートキャンプ場「四国三郎の郷」、「西部防災館」などへ案内することで、地元住民はもとより水辺利用等で訪れた人に対してもリピーターとして再度訪れてみたい場所として集客率の向上を目指す。</p> <p>吉野川の高水敷に既存する美馬リバーサイドパークと空地を活かし、各種スポーツやイベントを通じた交流の場とし、吉野川の雄大な自然の中で遊び、学び、楽しむことができる場となっている。周辺では、「美濃田の淵」、「ぶぶるパーク（水辺の楽校）」、「中鳥地区 MIZUBE ステーション」などが整備されており、水辺の観光および環境学習を中心とした取り組みを国・県・市及び地域住民が一体となって進められている。</p> <p>当エリアの競技場（グラウンド）並びに多目的広場では、サッカー、ラグビー、野球、ソフトボール、パークゴルフ、クロスカントリー、サイクルクロス等のスポーツ大会や、花火大会、TOYOTA ラリー等が開催されている。</p> <p>また、エリア周辺の洪水痕跡、神社、遺跡等の「歴史探訪」ルートやジオサイトを周遊する「ジオパークネットワーク」コースを設定し、そのための案内標識を設置する。</p> <p>当エリアと上下流にある「角の浦大橋」、「美馬橋」間の左右岸を周回するマラソンコースを設定し、マラソン大会の開催を検討しているところである。</p> <p>今後はこういったイベントの更なる拡大と開催の定着化、魅力値を上げる様々なメニューを企画し、利活用者の増加を図ることとする。</p>	
(参考)	
<p>・ 計画対象地周辺エリア図</p>	

計画対象地周辺に既存する神社・遺跡・ジオサイト位置図

●コンセプト (案)

令和6年10月、日本ジオパークに認定された中央構造線に代表される吉野川を形づくる地形と、吉野川の治水などの歴史（西村中島の掘削など）について情報発信を行う。



【ソフト施策の方針・メニュー】

1. 良好な環境を将来に向けて守り育てる
 - ・吉野川の保全活動（環境保全、自然観察等）
2. 水辺の賑わいを創出する（吉野川らしいイベント等の企画・運営）
 - ・スポーツイベント ・パークゴルフ ・防災活動拠点（防災訓練） ・花火大会 ・ラリー
 - ・サイクルイベント ・河川アクティビティ（カヌー等）
3. 川やまちの魅力を繋ぐ仕組み（ネットワーク形成）
 - ・吉野川上流「川のネットワーク」の構築
 - ・「ジオパークネットワーク・ジオサイト探訪」モデルルートに設定
 - ・ウォーキング・サイクリングコース・マラソンコースの拡充と活用
4. その他
 - ・周辺に既存する洪水痕跡、神社、遺跡等の「歴史探訪」ルートに設定

【ソフト施策】

	項目	内容
①	「ジオパークネットワーク・ジオサイト探訪」ルートに設定	周辺にあるジオサイトを探訪するルート設定
②	周辺の洪水痕跡、神社・遺跡等の「歴史探訪」ルート設定	ルート案内看板の設置
③	河川アクティビティ体験（カヌー等）	NPO 法人「AMENBO」等との連携
④	ウォーキング・マラソンコースの設定と活用促進	美馬橋～角の浦大橋間を周遊するコースを設定、案内表示
⑤	吉野川上流「川のネットワーク」の構築、活用	カヌー、カヤック等で周遊
⑥	花火大会開催の定着	魅力ある大会開催の定着にむけて、主催者等との連携
⑦	TOYOTA ラリー等モータースポーツの定着及び取組拡大	魅力ある大会開催の定着にむけて、主催者等との連携
⑧	吉野川の保全活動（環境保全、自然観察等）	自然環境の保全・環境学習エリア、散策路の提供
⑨	サッカー大会の開催	年間 30 回程度のサッカー大会の開催
⑩	スポーツイベント開催	日常的な利用も含め、多くのスポーツイベントが開催
⑪	防災活動拠点（防災訓練）	徳島県西部健康防災公園と連携
⑫	水難事故防止の安全教育の実施	水難事故防止のために水難事故防止演習を開催

【有効利用に関するソフト施策計画】

- ・美馬市美馬リバーサイドパーク美馬のグラウンドではサッカー場が3面あり、当芝生箇所の整備で2面サッカー場の整備を行い併せて利用することで全国少年サッカー大会を誘致することが可能となる。
- ・「西部健康防災公園」全域を活かした全国規模のスポーツ大会（マラソン大会・駅伝大会等）開催が可能。
- ・広大な高水敷を活かし、四国一の規模を誇る「美馬スカイスポーツサイト」において、日本選手権大会、世界選手権大会でのパラグライダー等の着地点へ利用予定。
- ・遊歩道はウォーキングやジョギングとして地元の方に利用されており、駅伝大会では既に徳島県上位に入る常連校（美馬商業・半田中学校）の練習に利用されている。冬季には地元のスポーツ少年団が駅伝に利用。
- ・イベント等の河川空間利用については、美馬未来塾、AMEMBO、NPO 法人美馬体験交流の会、中鳥川を美しくする会等の地元団体の活動により、「サマーフェスティバル」、「竹材講習」等の野外活動や学習活動を実施。
- ・近隣の小学生による環境学習や地域学習などの野外活動の場としての利用を促進し、日常的な利用者の増加。
- ・「美濃田の淵」から「脇町潜水橋」のほぼ中央に位置しており、オートキャンプ場「四国三郎の郷」などの滞在型施設が存在している為、カヌー等の水辺利用者の水辺の拠点として活用予定。
- ・「TOYOTA ラリー（第2戦）」（毎年）開催地として予定されている。
- ・「ジオパークネットワーク・ジオサイト探訪」モデルルートに設定
日本ジオパークネットワーク構想の三好ジオパーク三野エリアにある各ジオサイト（太刀野中央構造線、芝生衝上断層、王子の扇状地）探訪ルート
- ・「防災教育」における「歴史探訪」モデルルートに設定
近隣に存在する洪水痕跡、加茂野宮遺跡、下加茂神社、伊射那美神社等の歴史的史跡探訪ルートに設定



サッカー大会



ラグビー大会



ウォーキング大会



水難事故防止演習



TOYOTA ラリー



花火大会



カヌー体験



サイクルクロス大会



ハングライダー大会

<p>1. 河川名</p>
<p>① 吉野川水系吉野川、中鳥川</p>
<p>2. 整備範囲</p>
<p>吉野川 芝生地区、西村・中鳥地区 吉野川・中鳥川</p>
<p>3. 整備概要</p>
<p>【整備計画位置図】</p>
<p>公園内整備位置図</p>
<p>公園外整備位置図</p>
<p>【ハード施策に関する課題】</p>
<p>現在、開催される競技・イベント等の観覧者は、競技場および高水護岸法面（張芝）、堤天管理用通路から観覧しており、競技者と観客が一体となった空間を創出できるような観覧スペースがないことから踏み荒らしの多発が課題となっている。</p>
<p>また、開催される競技によっては、現在の多目的広場の広さでは足りない状況であり、広場の拡張が望まれる。</p>
<p>計画対象地は、竹林等の影響で左右岸の連続性が乏しい状況にあるため、河川巡視において視覚的支障となっている竹林の伐採が望まれる。</p>
<p>【ハード施策の方針・メニュー】</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 良好な環境を将来に向けて守り育てる <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観に配慮した管理用通路の整備（マラソン、ウォーキング、歴史探訪コース） 2. 吉野川の魅力を活かした新たな場を創出する <ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的広場の拡張 3. 様々な水辺利用に資する利便施設の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・ 階段護岸の整備 ・ 学習看板の設置

	項 目	内 容	役 割 分 担
①	階段護岸の整備	階段護岸工 (法覆工・競技等観覧スペース)	国
②	整地整備 管理用通路の整備	竹林伐採、多目的広場拡張 管理道通路の整備	(基盤)国 (施設)徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
③	河道内樹木伐採	景観配慮による観光ルートの設定	国
④	学習看板の設置	河川改修の経緯等を記載	徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町

【現状】 高水護岸法面・無堤区間自然護岸法面



【現状】

- ・左右岸の連続性が乏しい
- ・河川巡視において視覚的支障となっている

【整備後】 河道内樹木伐採



【整備後】

- 左右岸の連続性と、親水性豊かな景観が確保できる
- 適正な河川巡視が可能となる
- 良好な景観を得ることで、マラソン大会などの観光ルートの設定が可能となる

5. 整備の実現方策

・関連事業の整備計画

整備予定地の堤外地には、人々の交流やスポーツイベントを主とした多目的広場の拡張整備が、計画されている。

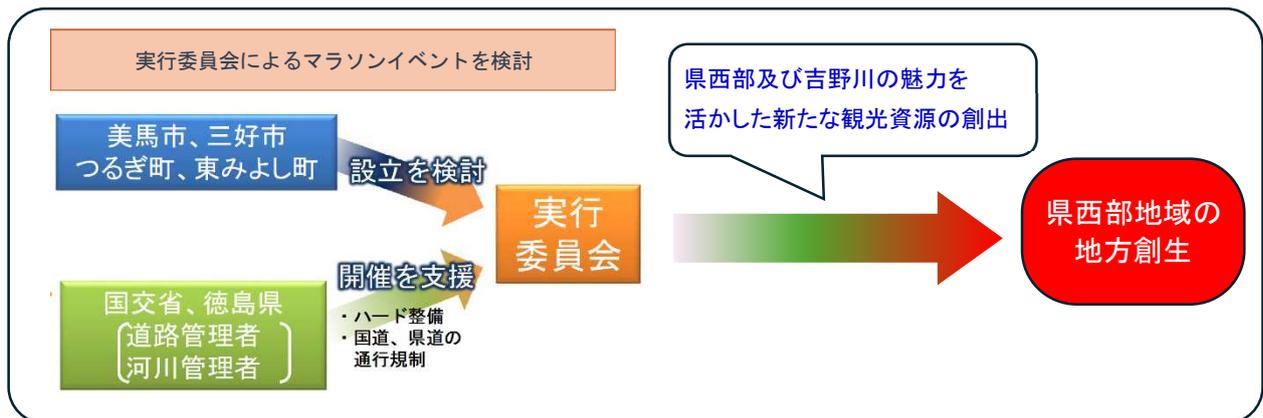
「西部健康防災公園」の各エリアと一体となった魅力的で賑わいのある水辺空間の創出を図ることで、今後なお一層の利活用の増加が見込まれる。

・整備工程

種別	事業者	整備内容	R8	R9	R10	R11	R12
水辺整備	徳島河川国道事務所	階段護岸・新規階段					
		整地・管理用通路					
		河道内樹木伐採					
施設整備	徳島県 美馬市 三好市 つるぎ町 東みよし町	多目的広場					
		学習看板					

6. 多自然川づくりに関する事項

- ・ハード整備は徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町及び国土交通省により推進を図る。
- ・ソフト面でも徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町とともに、地元関係各団体や「西部健康防災公園」「にし阿波から剣山・吉野川観光圏」等の活動計画を踏まえ推進を図る。
- ・マラソン大会開催に向けた実行委員会の設立・大会開催を通じて県西部地域の地方創生を図る。



<p>1. 継続的な有効利用に関する計画</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今後、計画の推進のために現在の各施策の実施主体を中心とした団体と市町が連携して必要な改善を行い、新たに行われるイベント開催と既存イベントの継続実施を行う。
<p>2. 維持管理計画</p> <ul style="list-style-type: none">・ 定期的に巡視を行い、必要に応じて以下の管理者が補修等を行う。 国土交通省（管理用通路、階段護岸(修繕等)） 徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町（各競技場、多目的広場（駐車スペース含む）、階段護岸（清掃等の簡易なもの））・ 吉野川水系では、流域の企業や住民グループが、担当する区間の堤防や高水敷を対象に、清掃・美化活動を定期的にボランティアで行う『アドプト・プログラム吉野川』が実施されている。当計画区間も地先の企業や団体が河川愛護活動を行なっている。当該区間では、「西栄・よいとこ会」、「地球の会」による河川清掃活動等と連携している。・ 美馬市では、NPO 法人 AMENNBO に地域住民や学校、利用者等との連携を図り、豊かな自然を保全・継承するための積極的な河川愛護活動の啓発・普及をはかり、ゴミを捨てさせない環境づくりを行っている。

<様式6>

(番号)

令和7年〇月〇日

国土交通省 水管理・国土保全局長 殿

地方整備局長

「かわまちづくり計画」の登録について（上申）

「かわまちづくり」支援制度実施要綱第7の規定に基づき、吉野川上流かわまちづくり推進協議会から申請のあった下記の「かわまちづくり計画」を登録されたく上申します。

記

名 称：吉野川上流かわまちづくり計画
推進主体：吉野川上流かわまちづくり推進協議会

以上

【様式A】 ○○地方整備局等管内「かわまちづくり」申請予定箇所

制度名	申請年度	所管窓口 (整備局名)	登録箇所名	推進主体 (申請者)	事業実施箇所					新規 or 変更	国管理 、 県・政令 市管理	事業の概要	備考(整備局担当)		
					都道府 県	市区 町村	水系名	河川名	河川管理者				課・係・氏名	内線番号	メールアドレス
かわまちづくり	令和7年 度	○○地方整 備局等	○○川○○地区かわまちづくり (ネーミング可)	○○市 or ○○市及び○○(民 間事業者) or ○○協議会 or ○○(民間事業者)	○○県	○○市	○○川	○○川	○○地方整備局 ○○河川事務所 ○○県○○事務所	新規 or 変更	国管理 、 県・政令 市管理	<p>○○市では、○○をはじめとする歴史的資産や城下町としての街並み、遊覧船など、歴史や水辺の観光資源があり、これらと○○などの交通結節点をつなぐ動線の確保と魅力向上に取り組むことで、中心市街地の回遊性向上と賑わい創出を図り、あるきたくなるまちを目指しています。</p> <p>この取り組みを充実させるため、○○市は○○の整備に併せた水辺の公園整備、○事業による歩行者空間の改善や○○などの整備を推進します。また、ミズベリング○○会と連携し、民間事業者の参画を促し、水辺の多様な利用による賑わい創出にも取り組んでいます。</p> <p>河川管理者(国土交通省もしくは○○県)では、この取組みに対し、必要となる河川管理施設を整備するほか、河川敷地占用許可準則22条に基づき、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。</p>	河川環境課 河川環境教育係 水辺 一郎	80-35433	oishi- k22aa@mliit.go .jp
かわまちづくり	令和7年 度	四国地方整 備局	吉野川上流かわまちづくり	吉野川上流かわまち づくり推進協議会	徳島県	美馬市、 三好市、 つるぎ町、 東みよし町	吉野川	吉野川	四国地方整備局 徳島河川国道事務所	新規	国管理	<p>実施箇所である2市2町は、徳島県の北西部に位置し、平成20年に「観光圏」の認定を受け、現在官民で構成される「にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会」のもと、吉野川沿いにおいては、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの資源等を活かした取り組みが計画・推進されているところであり、その取組を充実させるため、本計画では、様々なイベントの開催、また定着化に向け、安全・安心に川にふれあえる水辺空間の整備・利用に係る施策を実施し、地域の魅力の向上、観光振興の促進を図ります。</p> <p>河川管理者(国土交通省)では、この取組に必要な河川管理施設の整備などの支援を実施していきます。</p>			

よしのがわじょうりゅう 「吉野川上流かわまちづくり」

【様式B】

（徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町）

対象河川：一級河川 吉野川水系吉野川 【国管理河川】

市町村名：徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町

推進主体：吉野川上流かわまちづくり推進協議会



1. 概要

実施箇所である2市2町は、徳島県の北西部に位置し、平成20年に「観光圏」の認定を受け、現在官民で構成される「にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会」のもと、吉野川沿いにおいては、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの資源等を活かした取り組みが計画・推進されているところであり、その取組を充実させるため、本計画では、様々なイベントの開催、また定着化に向け、安全・安心に川にふれあえる水辺空間の整備・利用に係る施策を実施し、地域の魅力の向上、観光振興の促進を図ります。

河川管理者(国土交通省)では、この取組に必要な河川管理施設の整備などの支援を実施していきます。

2. ハード施策の内容

国土交通省：河川管理用通路、階段護岸、整地(高水敷整生)、河道内樹木伐採等

徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町：案内看板、ベンチ、多目的広場、園路、駐車場等

3. ソフト施策の内容

国土交通省：水難事故防止教室等の開催等

徳島県、美馬市、三好市：イベント開催(防災訓練、花火大会、マラソン等)、水難事故防止教室等の開催等
つるぎ町、東みよし町

公園内整備位置図

公園内整備位置図

- 整地(竹林伐採及び多目的広場拡張)
 - ・竹林を伐採整地し、多目的広場を拡張
- 整地【国】 多目的広場【市】
- 階段護岸工(法覆工)【国】
 - ・イベント時の踏み荒らしの防止
- 管理用通路(舗装)【国】
- 樹木伐採【国】
- 学習看板【町】
- 階段護岸工(法覆工)【国】
- 管理用通路(舗装)【国】
- 樹木伐採【国】
- 学習看板【町】

H29吉野川上流部空中写真(徳島河川国道事務所)に加筆

階段護岸(イメージ)
※観客席として活用

公園外整備位置図

公園外整備位置図

- 樹木伐採【国】
- 樹木伐採【国】
- 樹木伐採【国】
- 樹木伐採【国】

樹木伐採(イメージ)
※景観に配慮し、観光ルートとして活用

現状

整備後

※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。